

平成 29年 09月 01日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

地域優良住宅「地元自慢の家」

グループの名称

中国地域家守りネットワーク

直近採択グループ番号

04-0489-0586

(グループ代表者)

代表者名

魚谷 宗司

代表者印

代表者所属先

株式会社アート建工

代表者所在地

鳥取県境港市福定町

代表者電話番号

08-5942-6636

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社アート建工

事務局担当者名

亀山 裕子

印

事務局郵便番号

684-0042

事務局所在地

鳥取県境港市福定町671-1

事務局電話番号

08-5942-6636

事務局FAX

08-5942-6655

事務局担当者E-mail

hiroko.kameyama@art-kenko.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	地域優良住宅「地元自慢の家」
2. グループの名称(必須)	中国地域家守りネットワーク
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0489-0586
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	中国地方
5. 結成年(必須)	2009 年
6. グループ代表者名(必須)	魚谷 宗司
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社アート建工
8. グループ代表者所在地(必須)	鳥取県境港市福定町
9. グループ代表者電話番号(必須)	08-5942-6636
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社アート建工
11. グループ事務局担当者名(必須)	亀山 裕子
12. グループ事務局郵便番号(必須)	684-0042
13. グループ事務局所在地(必須)	鳥取県境港市福定町671-1
14. グループ事務局電話番号(必須)	08-5942-6636
15. グループ事務局FAX番号(必須)	08-5942-6655
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	hiroko.kameyama@art-kenko.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	6	海外事業者にあつては念書入手不可能であつたため、所属する出荷者による合法性の証明によつて代替する。
II. 製材・集成材製造・合板製造	6	海外事業者にあつては念書入手不可能であつたため、所属する出荷者による合法性の証明によつて代替する。
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	7	一部流通グループを介さず地域材の調達を行う場合がある(海外事業者を含む)
IV. プレカット	5	
V. 設計	4	
VI. 施工	5	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	鳥取県産材	鳥取県	鳥取県産材産地証明制度	1	国内
	しまねの木	高根県	しまねの木認証制度	1	国内
	岡山県産材	岡山県	おかやまの木で家づくり推進事業	1	国内
	兵庫県産材	兵庫県	兵庫県産材証明制度	1	国内
広島県産材	広島県	広島県産材産地証明制度	1	国内	
優良県産材	山口県	優良県産材認証制度	1	国内	

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		6	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	6	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		7	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	7	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	?均等配分 ?確定戸を優先し消化率を高める						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	



















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域優良住宅「地元自慢の家」	(地域型住宅供給対象地域) 中国地方
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 中国地域家守りネットワーク	(結成年) 2009年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0489-0586	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	当グループでは日本海側、瀬戸内海側とで重視する性能をそれぞれ以下のとおり設定する。 日本海側……冬の厳しい気候、特に湿度対策を重視した住宅とする。 瀬戸内海側……夏の暑さ対策を重視した住宅とする。 ※お客様の要望があれば設計、建設性能評価を取得する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	日本海側 ⇒冬の低い晴天率、低い気温、高い降雨(雪)量をカバーする設計配慮をした住宅。 具体的には床下の換気性を高めるため、基礎高400以上とする。 瀬戸内海側 ⇒夏の厳しい暑さ対策について設計配慮した住宅南側の軒の出を750以上。 または、主要開口部にオーニング・すだれ等の日除け設備を設置する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	晴天率の低い冬場の対策として、室内物干し場を1か所以上設ける。 同じ理由から、浴室乾燥機を採用し、洗濯物に対する環境を改善する。 結露対策として、アルミ樹脂複合サッシの採用。	○
④①～③の背景	中国地方は日本海側と瀬戸内海側で気候が大きく異なる。 日本海側は多雨多湿であり、夏期よりも冬期の降水量が多い。冬は寒いが、降雪量としては少なく、湿った重い雪である。 そのため、冬寒くて、しかも多湿という厳しい環境の地域である。 瀬戸内海側は年間を通して雨の量が少ない。しかし夏期は都市部を中心として猛暑日、熱帯夜となる日も少なくない。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 用材の寸法規格、建材の統一については、共同仕入メニューを確立し、グループ事務局中心となり各構成員に提案を行う。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局を中心に、地域材の見積明細書の共有と標準化を行う	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ゼロエネルギー住宅の標準仕様書を作成し、未経験工務店でも取り組めるような体制をグループとして整える。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材の見積明細書の共有と標準化を行う。また、グループ構成員でまとめて購入し、スケールメリットを生かしたコストダウンができる、共同仕入制度を利用する。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務担当者間の情報共有を徹底する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ事務局は上記報告を取り纏め、各構成員に共有を行う。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断熱等性能等級4、耐震等級2以上とする。 施工基準の証明として、お客様の要望があれば住宅性能評価の取得をする。	◎
b. ① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全棟長期優良住宅の施工基準とする。 ※高度省エネ型住宅については長期優良住宅の認定取得は任意とする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による検査を実施することでグループ全体の信頼性向上につなげる。 検査結果情報についてはグループ事務局に報告する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計、外部、内部、住宅設備の4項目にグループ分けした短時間で積算できる見積システムを採用する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員が参加した外部の技術セミナーの情報についてグループ内で共有する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域優良住宅「地元自慢の家」	(地域型住宅供給対象地域) 中国地方
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 中国地域家守りネットワーク	(結成年) 2009 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0489-0586	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅の住宅履歴情報の蓄積を行う。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関への住宅履歴情報登録を義務付ける。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局への登録報告を行う。(預り証等の登録が確認できる書類の提出)	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画書の内容にもとづいて点検を行う。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お客様に対して修繕積み立てに関する啓蒙を行う。具体的には修繕積立保険に加入するか、修繕積立に関する覚書の締結を行う。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅における維持管理計画書の控えをグループ事務局でも保管する事で点検補修時期の確認を行う。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局で内容を検討のうえ、各施工構成員で運営、実施する。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局で内容を検討のうえ、各施工構成員で運営、実施する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工構成員とグループ事務局が連携し、お客様の要望を踏まえたうえで相談会内容を検討のうえ実施する。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいの管理勉強会、DIY勉強会等の開催内容についてグループ事務局を中心とした委員会を設置する。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 該当無し	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 物件ごとに施工に携わった職人の情報をリスト化することで万が一の倒産・廃業時に備える。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外部講師を招いてグループ内で勉強会を開催する。外部講師の指定はグループ事務局で行う。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 採択後にグループ事務局が中心となり説明会を開催する。長期優良住宅の申請等について、手順のマニュアルを作成する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 品質管理のためのガイドブックを作成する。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ガイドブック内容に則った品質管理を行う事でグループ全体の品質を向上させる。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工構成員が中期3か年計画を作成し、グループ全体で共有する。グループ全体としての目標を明確化する事で地域型住宅の供給戸数を増やす。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年までにグループで供給する住宅の全棟をゼロエネルギー住宅化を目指す。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 6 今年度の参加目標人数 2	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 2	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員の参加者情報をグループ事務局で管理する。グループ事務局が受講スケジュールを案内する事で参加を促進させる。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域優良住宅「地元自慢の家」	(地域型住宅供給対象地域) 中国地方
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 中国地域家守りネットワーク	(結成年) 2009年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0489-0586	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) 主要構造材の20%以上に地域材を使用 ※「地元自慢の家」の安定供給を考え、各地域の県産材の供給量不足、強度不足等の理由も考慮して合法木材も使用を可能としている。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) ■ 50%未満 □ 50%以上 □ 80%以上	○
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須) 主要構造材 土台: ■ 使用していない □ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している	
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 □ ない ■ ある → 内容: グループ事務局が中心となり、各原木業者と連携をとる事で在庫把握を行う。	
	①-2 地域材価格の共有の仕組 □ ない ■ ある → 内容: グループ事務局が中心となり、地域材価格に関する情報共有を行う。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測 ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
c	①-1 畳の活用 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 150枚	○
	①-2 和瓦の活用 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 390坪	○
	①-3 襖の活用 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 26枚	○
	①-4 障子の活用 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 52枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 当地域は豪商や有力な武家を多く輩出した地域である。伝統的な街並みの要素として石州瓦の提案を行う。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 ■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 各県ごとの伝統工芸、地場の職人との交流を行い、地域の伝統文化について今一度学ぶ機会を設ける。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 構成員各社において、建てた後もお客様とつながりを持つ活動を行う。「家まもり講習会」で住まいのお手入れ方法などを共有する	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域景観の向上の為、各構成員ごと、行政の景観条例、推奨項目リストを事務局を中心に作成し、共有を図る。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局を中心にデザインに関する知識向上、研修活動を行い、「和」をテーマにしたデザイン要素、暮らし方の提案など知識向上を図る。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域優良住宅「地元自慢の家」	(地域型住宅供給対象地域) 中国地方
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 中国地域家守りネットワーク	(結成年) 2009 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0489-0586	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

4地域から7地域のグループメンバーの分布となっており、地域ごとに気候もお大きく異なる地域であるが、湿度対策、暑さ対策共に、住宅の断熱性能が大きく関わることになる。そこで、本地域における基本性能の平均値よりも、特に住宅の性能を上げるにより、一次エネルギーの消費量を抑える構造の認定低炭素、およびゼロエネルギー住宅を企画しました。

4地域～7地域対応

エネルギー削減率(RO値)

- 4地域→20%
- 5地域→20%
- 6地域→20%
- 7地域→20%